ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成27年6月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

2015年 Jun 6 NO.49

Pick up 元気いっぱい　春の大運動会

平

5月16日に豊間小学校で行われた「豊間小・中学校合同運動会」。表紙の写真は「運べ豊間の名産品」。豊間・薄磯・沼ノ内の名物、「かまぼこ」「灯台」「うなぎ」が生徒たちの頭上を通りながら、運ばれました。小・中学生、力を合わせて頑張った一日となりました。

久之浜 大久

車いす「あーちゃん13号」小学校運動会と植樹体験

四倉

旅館なぎさ亭が営業再開 大浦小で運動会開催

小名浜

地域貢献を誓う上野先生 運動会・体育祭特集

勿来

力を出し切った大運動会 ドングリの苗木を移植

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます!(見方はP11)

娘の遺志を継いで

車いす「あーちゃん号」を贈る会

平成13年6月12日、一人の高校生が亡くなりました。みんなから「あーちゃん」と呼ばれた木村麻美さん、16歳。あーちゃんは、久之浜一小1年生の時に剣道を始め、5年生で県大会個人優勝。国体強化選手にも選ばれるほどの腕前でした。

「明るく大きな声、決して弱音を吐かない芯の強い子だった。生きていたら、どこまで強くなったろう」と全国自衛隊剣道大会の優勝者も輩出した、久之浜剣友会の遠藤善茂会長が話します。

特注の軽量アルミ製車いすのプレート。遺志を尊重し寄贈者名は麻美さん

ご両親の木村喜隆さん美奈子さんは、学校のロッカーでプルタブが入った大きなビニール袋2つを発見。生前あーちゃんが福祉施設に車いすを贈るため空き缶のプルタブを集めていたことを知りました。「娘の遺志を形にしたいと思いました。最初の車いすまで4年かかったけど、今は毎年車いすを福祉施設などに贈っています」と美奈子さん。1台の車いすを購入するにはドラム缶8本分のプルタブが必要です。

「空き缶やペットボトルキャップなども考えたけど、麻美が集めたのはプルタブ。それにこだわり続けていきたい」と喜隆さんが話します。

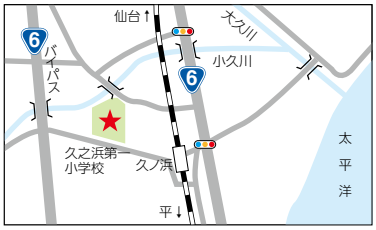
あーちゃんの命日6月12日、両親と奥さんの幼なじみで一緒に活動を続ける岬花江さんが高知県室戸市を訪れ、あーちゃん13号を市役所に寄贈しました。全国へ広がった一人の高校生の想い。今日も木村さん宅には沖縄をはじめ全国各地からプルタブが送り届けられています。

「嫁に出すような気持ちで車いすを贈っている」としみじみ話す喜隆さん

津波避難場所ガイド

●久之浜第一小学校校庭

●住所／久之浜町久之浜字糠塚15
●面積／12,364㎡●海抜／6.8m



ふるさと歳時記 小学校で運動会

久之浜一小春季大運動会 5月17日

雨で一日順延となったものの、晴れ渡る空の下開かれた運動会。「炎のように心も熱くなれ紅組」、「白馬のようにかけぬけろ白組」。スローガン通り、額に汗して頑張る児童の姿がありました。

CHECK! 動画が見られます！

久之浜二小大運動会

スローガンは「あせらずに 力を合わせて 打ち勝とう」。児童たちの紅白対抗、そして毎年恒例の卒業生や保護者による青黄チーム対抗戦も行われ大盛り上がり。緑に囲まれた校庭が歓声で包まれました。

CHECK! 動画が見られます！

復興へ向けた動き

久之浜防災緑地づくり これからの取り組み

町内で造成工事が進む防災緑地。久之浜・大久地区復興対策協議会（吉原二六会長）では、ふるさと久之浜らしい防災緑地づくりに向け３つの部会を立ち上げ、活動しています。

○植樹部会

今後の植樹について、地元での協力体制、学校や企業との連携などの企画調整を行います。

○四季彩部会

防災緑地が憩いの場所となるよう、四季の花や桜など、地区全体の緑の景観を考えます。

○子ども部会

防災緑地を使った子どもたちへの楽しい実体験の場の提供や利活用法を考えます。

お知らせ…

「水遊び」をテーマにあそぼう会 開催決定

●日時　7月19日(日)　10時～14時

【問い合わせ】久之浜・大久支所　☎82・2111

第17回ニジマスつかみどり大会

●日時　7月26日(日)　10時～13時

【問い合わせ】海竜の里センター　☎82・2772

一小と二小合同で総合学習 防災緑地で植樹体験

5月26日、久之浜一小と二小合同で総合学習・防災緑地での植樹体験が行われました。一小の６年生34名、二小は5・6年生10名、合計44名が参加。

いわき建設事務所から防災緑地の説明、文部科学省理科支援員吉岡榮一さんによる手作りの模型を使った授業、樹木医の木田都城子さんによる木々の説明と植樹方法が話され、いよいよ植樹体験です。クロマツ、スダジイなど８種類280本が植えられました。終了後、「防災緑地でしたいこと」の調査が行われ、一番人気はバーベキュー。目を閉じると、この日植樹をした児童が成人となる頃、森の中でバーベキューを楽しむ姿が見えてきました。

CHECK! 動画が見られます！

春から夏へ　久之浜・大久

久之浜保育所地域事業

５月25日、老人クラブの皆さんらが保育所を訪れて子どもたちとの交流会。１歳児から89歳の同会遠藤郁男会長らが一緒に花の苗をポットに植えたり、遊戯室で「おっとっとっと久之浜」を踊ったり、楽しい時間を過ごしました。

老人クラブの皆さんら17人が参加し交流が行われました

CHECK! 動画が見られます！

こどもの日、多くの家族連れで賑わった海竜の里センター。末続駅のツツジや海岸のハマエンドウやハマヒルガオ、そしてハマナスが咲き誇る春本番の久之浜・大久地区。

夏を前に海岸清掃

5月30日、中浜海岸で海岸清掃が行われました。参加者は約80名。地区の皆さんや石川町からのボランティアも加わり炎天下の作業。集まったごみは、なんと280kg。清掃終了後、ハマエンドウの地下茎の植栽作業も行われました。

「きれいな浜、美しい浜を取り戻そう」が海岸清掃の合言葉

CHECK! 動画が見られます！

女将の徳永真理子さん（写真左）と娘の小松晃子さん

激励の声に支えられ4年ぶりに営業再開

旅館　なぎさ亭
徳永　真理子 さん

料亭からスタートし、四倉町上仁井田で三代続く旅館〈なぎさ亭〉は、風光明媚な仁井田浦の景観と、地場の魚や新鮮な野菜などを使った料理が人気の宿でした。

大震災のあの日、津波が仁井田川の堤防を越えて旅館まで押し寄せ、三階建ての建物の一階部分を突き抜けました。

従業員を避難させて、最後に宿を出た女将の徳永真理子さんは、逃げる途中で津波に巻き込まれましたが、松の木にしがみついて難を逃れました。

旅館の敷地が、県の進める仁井田川堤防のかさ上げ工事区域だったため、工事計画が決まるまで建て直しができず、その間に再開を諦めようと思ったこともありましたが、

「お客様や地域のみなさんに何度も励まされたことが、再開までの心の支えでした。その声に背中を押されました」と、徳永さんは振り返ります。

そして、金融機関や県のグループ補助事業の支援も受けて、今年4月13日、待望の再オープン。

堤防かさ上げ工事で従来の敷地が半分になり、建物も二階建てに。そのため震災前にはあった宴会場を設けられず「ご宴会を楽しみにしていたお客様も多かったので、ご恩返しができずに残念です」と話す真理子さんですが、昼間の時間に食堂の収容人数内の宴会であれば対応できるとのことです。

現在は、復旧復興事業に従事する利用客が多く、観光ビジネスがメーンだった震災前とは客層が大きく変わりましたが、徳永さんは「何年後になるのか分かりませんが、いわきの復興が完了したら、また観光のお客様にたくさん来ていただきたいですね」と笑顔で締めくくりました。

約4年ぶりに再開した〈なぎさ亭〉

全児童が参加で大運動会

5月17日、大浦小学校で春季大運動会が行われ、青空の下で児童全員が元気に参加しました。

ゴールを目指す1年生

5、6年生による鼓笛パレード

大声援の中での綱引き

市民会議が震災記録集を発行

四倉ふれあい市民会議が、記録集「東日本大震災 四倉復興の軌跡」を発行しました。

36ページの冊子で、同会議ふれあい広報グループの広報委員会が編集しました。

東日本大震災直後の四倉の様子や、復旧作業に当たるボランティアの姿、復興に向けて歩む町の光景や、さまざまなイベントなどを記録した写真を掲載。

また、震災を経験した四倉ゆかりのみなさんの証言も掲載しました。

四倉の復興の歩みがこの一冊に

復興へ向けた動き

四倉漁港内の浚渫（しゅんせつ）工事について

震災で防波堤が壊れた四倉漁港では、土砂が港内に流れ込んで堆積し、船の停泊に支障が出ているため、県は今年4月から船溜（ふなだまり）の土砂を取り除く工事を行いました。

この工事は、グラブ浚渫船と呼ばれる作業船で船溜にたまった土砂を掘削して、漁港の機能を回復させるもので、第一船溜は約5、000㎥、第三船溜は約4、000㎥の土砂を取り除きました。

この結果、船が安全に停泊できるようになりました。また、浚渫した土砂は船溜近くに陸揚げして水切りをした後、漁港内の仮置き場で乾燥させ、他の工事に利用します。

四倉漁港の第三船溜で作業する浚渫船(5月14日撮影)

津波避難場所ガイド

●大浦公民館

●住所／四倉町狐塚字小橋89
●面積／785㎡
●海抜／3.7m

大浦小と四倉中で避難訓練

大浦小学校は5月29日、下校時を想定した避難訓練を初めて実施しました。

同日、四倉中学校では津波避難訓練が行われ、降雨のため予定を変更し、生徒らは体育館へ避難しました。

四倉中では約300名の生徒がすみやかに体育館へ避難

下校途中で安否確認後、津波に備え小学校へ戻る児童

四倉ピックアップ

楽しかった動物園

5月20日、四倉第一幼稚園の園児らが、遠足で日立市かみね動物園を訪れ、園内を見学しながら動物たちとふれあったりしました。

ニシキヘビに興味津々の園児たち

南団地でコンサート

5月16日、四倉南団地の集会所で、市社協主催による「音だまくらぶ」のコンサートがあり、唱歌「ふるさと」や演歌などを歌いました。

長野県を中心に活動する「音だまくらぶ」

市民会議総会

四倉ふれあい市民会議の第11回通常総会が5月29日に四倉商工会館で開かれ、平成27年度の事業計画や収支予算書が承認されました。

今年度もさまざまな事業を予定しています

音無さんの歌声に魅了

女優の音無美紀子さんによる歌声喫茶が、5月17日に道の駅よつくら港などで開かれ、音無さんと夫の村井國夫さんらが来場しました。

歌とお話で楽しい時間を過ごしました

地域の絆

豊間小・中学校合同運動会

5月16日、昨年に引き続き、小・中学校合同で運動会が開催されました。現在も津波で壊れた中学校の校舎は使用ができないため、小・中ともに同じ校舎での学校生活が続いています。そのせいもあってか、互いに協力し合い、雨で開始時間が遅れた分もチームワークで頑張りました。

応援合戦が始まった頃に雨が激しくなり、この後しばらく待機に

１年生のあいさつでスタート。学校生活での初舞台です

地域色あふれる競技「かまぼこ届けます」では、調和がポイント

小・中合同競技。転んでも上級生がフォローしました

運動会の華「鼓笛パレード」小学生高学年の勇姿です

CHECK! 動画が見られます!

小・中合同競技前に声を出して気持ちをひとつにして臨みました

女子力ＵＰで地域の力に

キャンピングカーのサロン

自然と笑顔がこぼれます

5月27日、日本ネイリスト協会が実施している「全国縦断！ネイルキャラバン」が豊間団地集会所を訪れました。これは、協会に所属しているプロのネイリストたちが、豊間地域の女性たちに、ネイルケアやネイルのカラーリングなどを行って心を癒していただくことを目的に行われたものです。

普段はおしゃれから遠ざかっていた高齢の参加者も、ネイリストとの会話を楽しみながらきれいになってゆく指先に気持ちも若くなり話しも弾んでいました。団地内に引きこもりがちな方にとって良い交流の場になっていました。

ネイルは初めてと緊張ぎみ

終了後アンケートも笑顔です

復興へ向けた動き

試験操業に希望を
薄磯採鮑組合

5月11日、薄磯採鮑組合が2年目の試験操業を開始しました。この日は漁場が底荒れして視界が悪いなかでの操業でしたが、型の良いアワビが規定量水揚げされました。

鈴木一好薄磯採鮑組合会長は久しぶりの漁に「条件は悪かったが無事漁ができた」と安堵の表情を浮かべ、また組合員も出漁を喜び合っていました。

14日には、小名浜魚市場で仲買人によるセリが行われ線量検査後出荷されました。セリを終えて鈴木孝史薄磯採鮑組合漁労長は「漁ができるのはとても嬉しいが、本格操業までどの位かかるのか不安もある」と複雑な思いを話していました。

セリの前にアワビの殻に産地のタグを付ける薄磯採鮑組合員

久しぶりの漁に身体の感覚を確かめるように漁場に向かう海士（あま）たち

お知らせ

薄磯区新区長あいさつ

この度任期満了に伴い、区長に就任しました。復興半ばの町ですが、工事の槌音も高らかに新しい町に生まれ変わろうとしています。海まち・とよま市民会議でのグランドデザインも策定され、区役員をはじめ、薄磯復興協議委員会の若手とも協力して未来に向かって希望の持てる町づくりをしていきたいと思います。

区民のみなさま、これからもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

薄磯区長　鈴木幸長

平地区ピックアップ

各国の代表が献花

5月22日、豊間小学校近くの特設会場では太平洋島サミットの現場視察を兼ねて東日本大震災での犠牲者に参加国の代表者が献花を捧げました。

各国の代表や大勢の客人を迎えた薄磯区役員たち

海まち・とよま市民会議

5月18日、市役所第3会議室にて、沼ノ内・薄磯・豊間3地区の復興グランドデザイン「とよま地区復興未来計画」が清水敏男市長に手渡されました。

グランドデザインは市民会議が中心となり策定されました

復興を祈るエイサーの舞い

5月17日、豊間団地・とよマルシェに東京中野から真南風エイサーと新風エイサーの2つの団体が訪れ、舞いを披露したり、一緒に踊ったりして住民らと交流しました。

主催の中野チャンプルーフェスタは2日間市内を回りました

地域のみなさんの健康を守る

医療法人
洋向台クリニック
理事長　**上野　博** さん

洋向台にある〈洋向台クリニック〉には内科、外科、小児科などさまざまな診療科目があり、赤ちゃんから寝たきりのお年寄りまで多くの患者さんの健康を見守っています。

平成14年9月、理事長の上野博さんが洋向台にある自宅に併設しクリニックを開院。その後17年11月から場所を永崎海岸前に移しました。

震災の日、職員たちが午後の診療準備をしていたところに地震があり、来院中の患者さんをすぐ帰宅させました。津波が来ることを知り、すぐに全職員が避難しましたが、同クリニックは津波により全壊しました。

これからのことを真剣に迷った上野理事長。避難先の長野県伊那市の病院に就職するも、震災の翌月から週末はいわき市の自宅での診療を開始し、5月20日からはいわき市だけに専念するようになりました。津波被害にあった患者さんも多く、上野さんも涙ながらに診察。「みなさん待っていてくれました。頼りにされ、嬉しかったです」と当時を振り返ります。

24年10月からは現在の場所にクリニックを新設。これからは地域貢献にも力を入れようと、今年6月からは毎週火曜日20時まで診察します。「自分にできることをやり、貢献していきたい。これからは患者さんのため、介護にも目を向けて行きたい」と、上野さん。今日も真摯な気持ちで患者さんと向き合って診察しています。

▶上野理事長（前列右から2番目）と全職員

◀震災後すぐの洋向台クリニック

小名浜地区運動会・体育祭

江名中学校（5月9日）

「魅せろ！江名の団結　輝け！最高の笑顔」をスローガンに体育祭が行われました。団体戦や長縄跳び、リレーなどクラスで競い合う生徒たち。それぞれが全力を尽くし、協力し合っていました。

長縄跳びで最高74回跳んだ3年2組

CHECK! 動画が見られます！

永崎小学校（5月17日）

全児童が力を合わせた応援合戦から始まり、6年生が先生と協力する「恩師とともに」や5、6年生による「決戦！永崎の陣」など盛り上がりを見せました。児童は練習の成果を見せていました。

「困難を乗り越えて」でブルーシートから出てくる5年生

江名小学校（5月17日）

4、5、6年生による「鼓笛in2015」。指揮者は相浦（あいうら）紗弥加さんが行い、「校歌」「ミッキーマウスマーチ」「負けないで」などを演奏しました。どの競技も最後まであきらめない児童の姿がありました。

「キッズソーラン」では全児童と卒業生が踊りました

復興へ向けた動き

いわき東警察署江名駐在所開所式

津波で甚大な被害を受けた旧いわき東警察署江名駐在所。昨年8月、場所を高台の向畑に移し、工事に着工。今年3月末に完成しました。4月25日の開所式のなかでは関係者らによるテープカットが行われ、完成を祝いました。同警察署江名駐在所の永沼俊彦巡査部長が「江名地区の安心、安全を守りたい」と話していました。

開所式のあと、警察署関係者や地区住民たちが記念撮影

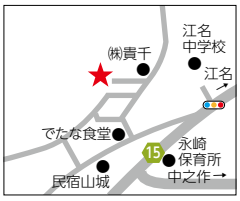
中之作港海岸堤防工事進捗状況

永崎小舟だまり背後の約160mは平成28年3月に完成する予定です。小舟だまりから中之作港側の約100mは昨年度末におおむね完成。勝見ヶ浦緑地沿いの約160mは今年11月の完成を目指して工事中です。中之作港背後の堤防は既存の場所から前に出して施行中で、現在の進捗率は80%まで達し、今年8月に完成を目指して工事中です。また、中之作魚市場に行く道路の入口を含め3ヵ所に新たに造る陸閘(りっこう)は6月から工事に着手します。

永崎緩傾斜堤(かんけいしゃ)は昨年度末におおむね完成

津波避難場所ガイド

●稲荷神社



●住所／永崎字川畑220
●面積／136㎡
●海抜／13.2m

●御霊神社

●住所／小名浜下神白字千速177
●面積／15㎡
●海抜／20.7m

小名浜ピックアップ

アクアマリンで潮干狩り

5月10日から6月28日までの毎週日曜日に開催されている潮干狩り。初日からたくさんの来場者で賑わいを見せました。家族連れも多く、子どもたちはアサリやハマグリを見つけ、笑顔を見せていました。

「毎年来ています」と家族の恒例行事にしている親子の姿も

小名浜地区の行政嘱託員総会

5月11日、〈カルチェ ド シャン・ブリアン〉で平成27年度行政嘱託員(区長)連合会総会が開かれました。

同会では退任者へ感謝状の贈呈や、新任者へ委嘱状の交付が行われました。

行政嘱託員や関係者ら約100名が出席しました

冷凍マグロの水揚げ

5月19日、本蔵商店のマグロはえ縄漁船第38漁福丸が小名浜港に帰港。いわき海星高校の生徒や見学者が見守るなか、太平洋西経漁場で獲れた約40tの冷凍マグロを水揚げしました。

いわき産冷凍マグロとして全国へ出荷

CHECK! 動画が見られます!

門馬さん（左）と、従業員の鴨八郎さん（中央）、山名俊枝さん（右）。門馬さんは「自転車安全整備士」として、中・高生への指導も行っています

あの人は、いま

ふるさとだよりNo.29で掲載（平成25年10月号）

錦町　（有）門馬自転車店
店主　**門馬　俊治** さん

消防団に入団して今年で29年が経つ、門馬俊治さん。本誌29号では、震災当時の門馬さんの活動を紹介しました。

その後、半壊となってしまった店を取り壊し、裏手に仮店舗を設けて営業を続けていた門馬さん。新しい店が完成し、今年5月に元の場所での営業を再開しました。

1年半前に取り壊しをした際、店を閉めようかと思ったこともあったそうです。しかし、「辞めちゃったのかと心配したよ」と涙を流すお客さんの姿を見た門馬さんは、「一刻も早く元の場所で営業しなくては」と、店を続けていく決意を固めました。今では「とっても良くなったね」と、評判も上々です。

またある日、以前震災の語り部として活動していた時に話しを聞いていたという、お子さんとそのおばあさんが来店しました。門馬さんが「もし外で遊んでる時に、突然大きな地震が来たらどうする？」と尋ねると、きちんと家族で決めた避難先を答えたそうです。

「自分の教えたことが伝わっているんだなぁと思って、すごくやりがいを感じた」と門馬さん。今後も要望があれば、語り部をしたいとのこと。

「若い消防団員にも自分の活動が託せるよう指導しながら、今後もこの場所で営業を続け、地域に根付いた店にしたい」と、目標を語りました。

店内は天井を高くし、作業性を向上させた造りになっています

駐車場も設けられ、元の場所でのオープンを果たした店の外観

5月7日 力いっぱい頑張った運動会

勿来地区の各小学校で行われた、春季大運動会。心をひとつにし、一生懸命に勝利を目指した子どもたちの姿を紹介します。

CHECK! 動画が見られます！

汐見が丘小学校

植田小学校

CHECK! 動画が見られます！

復興へ向けた動き

勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業

5月25日に開かれた第5回では、前回出された意見の振り返りおよび、復興公営住宅についての情報共有を実施。また、双葉町がどんなところかを知るため、観光パンフレットを参考に町の紹介が行われました。

小浜町「渚橋」架け替え工事を発注

小浜町の、県道橋および市道橋（海側）の「渚橋」について、今年3月に架け替え工事が発注されました。

市道橋は、海岸堤防のかさ上げ工事に伴い、漁港への入り口となる道路が堤防を乗り越えるようにして整備されることから、既存より高い位置への架け替えを実施。年末までの完了が予定されており、工事期間中は漁港前の道路が一部通行止めとなります。

県道橋については、県道泉岩間植田線の幅員拡張に伴い行われるもので、8・75mだった幅員を14mに広げ、既存の位置より海側へ整備。なお、工事は車両の通行を可能にしながら進められ、平成28年秋頃までの完成を目標としています。

工事期間中は、赤で示した区間が通行止めとなります

復興グランドデザインワークショップ

いよいよ最終回となった「第13回小浜・岩間地区復興グランドデザイン策定に向けたワークショップ」が、5月18日に植田公民館で開かれました。

地域住民16名が参加し、グランドデザインの本編および概要編について、前回からの変更点の報告と、内容の最終確認を実施。

なお、本編は小浜・岩間地区の全戸に配布され、概要編については配布エリアの検討が進められます。

また、今後の推進体制についても協議され、今回の意見を参考に決定していくこととなりました。

市長へのグランドデザインの提出は、今夏頃を予定しています。

津波避難場所ガイド

●中岡第一公園

●住所／中岡町六丁目3-1
●面積／7,800㎡
●海抜／3.6m

●津神社

●住所／小浜町渚地内
●面積／67㎡
●海抜／21.0m

勿来ピックアップ

すくすく育った苗木を移植

昨年、岩間町および小浜町で採取した、防災緑地に植樹するためのドングリ。苗箱で育てていたものが発芽し大きくなってきたため、5月9日にポットへの植え替えが行われ、740鉢が出来上がりました。

「Tsukuba for 3.11」および芝浦工業大学の学生たちが協力

平成27年度　新役員が可決

5月15日、勿来地区行政嘱託員の解嘱状・委嘱状交付式および、総会が開かれました。前年度の実施事業と収支決算が報告され、今年度の事業計画、収支予算ほか新役員の案が可決されました。

〈勿来温泉　関の湯〉で行われた、連合会定期総会の様子

●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp
http://www.furusatodayori.com

お知らせ

いわきの復興に向けた教育メッセージ(平成27年度に向けて)を発信

市教育委員会では、ふるさといわきの力強い復興と再生に向けて、未来へ飛躍する子どもたちの人材育成に関する姿勢と展望等として、震災後から毎年、教育メッセージを発表してきました。

本年度も、学校・家庭・地域などさまざまな主体が連携しながら、子どもたちの心と体を育むための「豊かな土壌づくり」を進めるため、「守る」「支える」「伸ばす」の3つの柱を基本とすると共に、それぞれの柱の「つながり」を重視しながら、さまざまな事業を進めていきます。

※詳しくは、市HPおよび広報いわき5月号をご覧ください。

【問い合わせ】
教育政策課企画係　☎0246-22-7541

新自治会長が決定しました

中央台高久第一応急仮設住宅
馬上　武夫 会長

向こう三軒両隣に声をかけたり話をしたりと、住民の目線でコミュニケーションをとりながら、明るい自治体にしたいと思います。

馬上会長（左から2番目）と仮設住宅にお住まいの方々

❊プチ講座❊ なるほど！いわきの歴史コーナー Part.1

磐城平城って?

磐城平城は、現在のいわき駅北口から見上げた高台の「平旧城跡」および「物見が岡」と呼ばれた一帯にありました。

1600年の関ヶ原の戦いの結果、飯野平城(大館城)を居城としていた岩城氏が改易となり、1602年に新たに徳川幕府譜代の鳥居忠政が磐城平藩に転封。そして、将軍の命により12年もの歳月をかけ、磐城平城が築城されました。これは、仙台藩伊達家に対する備えとして、江戸の幕藩体制中に唯一認められた築城とも言われています。

旧仮藩庁

物見岡稲荷神社

できごと PICK UP

応急仮設住宅や災害公営住宅ほか市内各地のイベントやできごとを紹介

5月23・24日 文化でつなぐ市民の和「第1回いわき文化春祭り」

震災以降、〈いわき芸術文化交流館アリオス〉で毎年行われていた「いわき文化復興祭」。今年から文化の発展と継承を目指し、「いわき文化春祭り」に名称を変えて開催されました。

市内で活動している175の団体による芸能発表や、水墨画、俳句、華道などの作品展示のほか、絵手紙体験コーナーも設置。野外会場では、和太鼓演奏やダンスパフォーマンスなども行われました。また、平中央公園内には、たこ焼きや焼きそば、フランクフルト、かき氷などの出店も並び、多くの家族連れで賑わいました。

体験コーナーにて絵手紙制作を楽しむみなさん

黒潮流みつもり太鼓による和太鼓演奏

CHECK! 動画が見られます!

各地の復興工事進捗状況

災害復旧工事
〈地方港湾　江名港〉
5月27日現在

災害復旧概要
- 岸壁延長　約1.5km
- 防波堤延長　約1.1km
- 工事期間　平成25年春～平成27年秋(予定)

将来のライフプランを無料で個別アドバイス!

ふるさと伝言板

「住まいと暮らしの再建相談会」

◆日時　7月26(日)
①10:00 ②13:00
③15:00(各90分程度)
◆場所　市文化センター
◆定員　9組 (各時間3組)

※お申し込みは開催日の3日前まで。
【予約・問い合わせ】
市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

海水浴場開設のお知らせ

四倉海水浴場と勿来海水浴場が開設になります。式典は、7月18日に四倉海水浴場をメイン会場として開催されます。

●開設期間　7月18日(土)～8月18日(火)(32日間)
●開設時間　9:00～16:00

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます!

①COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動するとスキャン画面になります。
③スマホをかざして画像をスキャンします。
④認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください!
注)ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。